

川崎の男女共同社会を **すすめる会通信** No.161

●連絡先 藤井光子 himiko@r4.dion.ne.jp ☎& FAX 044-944-7872 ●発行日 2014年9月10日
〒214-0003 川崎市多摩区菅稲田堤 3-8-2-503 ●HP /<http://web-k.jp/susumerukaidanjyo/>

ビブリオバトルに私たちも燃えました！ VS 学生たちと共に「おすすめ本紹介合戦」

暑い暑い夏の終わりの8月27日、すくらむ21で研修しているインターンシップの大学3年生15名に混ざって、すすめる会6名が熱戦を繰り広げました。娘や息子たちより少し若い彼らと、対等に渡り合う体験は、新鮮でした。

彼らが選んだジェンダーに関する本の読み込みの深さにも感銘を受けた2時間でした。

こういう機会を通じて多世代交流がすすむといいですね。

さて、9月はいよいよ井上輝子先生の登場です。80-90年代、川崎の男女平等政策作りにも深く関わってこられた井上先生が、現在、若者や女性たちを取りまく新しい差別や格差などの問題につなげてお話下さいます。ぜひご参加下さい。

『川崎の女性のあゆみII 1970~80年代』から現在を考える講座 第3回

「女性が輝く社会」！？ すすんでいますか？ 誰でも平等 安心の仕組みづくり



最近「女性が輝く社会」と盛んに言われますが女性や若者を取りまく環境ってどうなんだろう

母子世帯の子どもの貧困率は高まり…
育児や介護は、まだまだ女性の役割…
非正規雇用は若者と女性が圧倒的！
パワハラやマタニティハラスメントも多く
議員になっても、セクハラヤジが飛んでくる

あなたのまわりで気になる差別ありませんか？
女性学が専門の井上輝子先生と共に、
すすめる会が発刊した

『川崎の女性のあゆみII 1970-80年代』を辿りながら
女性や若者が直面している問題を考え
あなたが言いたいこと、語り合しましょう！

●日時 2014年9月20日(土)
13:30~16:00

●講師 井上輝子さん 和光大学名誉教授
『新・女性学への招待』など著書多数

●会場 川崎市男女共同参画センター
すくらむ21 第1・2研修室

*資料『川崎の女性のあゆみII』プレゼント
参加費：無料

アクセス▶ JR南武線「武藏溝ノ口」駅
田園都市線「溝の口」駅 徒歩10分
4回講座、1回だけの参加もOKです。

井上輝子先生の原稿より 抜粋

「国連女性の十年」の国連や政府の動きを受けて、川崎市も「婦人問題」担当部署を設置し、行政施策として、男女平等問題に取り組み始めたわけです。それに呼応して、地域の女性運動も大同団結して「すすめる会」をつくり、行政と連動しながら、川崎市の男女平等に向けての動きを始めたわけです。

少し前に誕生した女性学も、性差別の現状を分析し、性差別を生み出す社会構造を解明すると同時に、性差別の現実を変えるための教育・実践活動に力を注ぎました。女性行政と女性運動と女性学がそれぞれの持ち場で連携しつつ、川崎市という地域を舞台にして、男女平等社会の実現に向けて、共同歩調をとって歩き出したのが、この時期でした。

情報が次にふみだす力になる 私がすすめるこの1冊！

学生たちと一緒に考えよう！テーマ〈若者・働く〉

第2回目の講座は、すくらむ21のインターンシップに参加している学生さんたちと共にビブリオバトル（おすすり本紹介合戦）を行いながら、テーマである〈若者・働く〉にとりくみました。まずビブリオバトルの公式ルールをご紹介します。

4～5人のグループに分けてグループごとに始める。

- 1 参加者が読んで面白いと思った本をそれぞれ持って集まる
- 2 順番に1人5分間で本を紹介する
- 3 それぞれの発表の後に紹介された本に関して質問や、ディスカッションを2.3分行う
- 4 全ての人の発表が終了した後に「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票を参加者全員一票で行い、最多票を集めたものを「チャンプ本」とする。以上の内容です。

司会者の呼びかけにより、各グループの進行が決まっていきます。イベント感覚があり、最初は戸惑う方も多いと思いますが、ゲームに参加しているような感じで気分が高揚しました。司会者の会場全体の盛り上げ方が絶妙でした。

講座に先立ち、すすめる会の杉目さんから今回の冊子（あらかじめ配布済み）の中から、執筆者の思いや時代の状況などをぜひ感じ取ってほしいと説明がありました。

いよいよ各グループの本の紹介・ディスカッションにはいります。

すすめる会のメンバーが1から2名グループに入り、5.6名のメンバーは4班できました。

私の参加した班は、女性5名（すすめる会2名）男性1名。

紹介された本は、どの本も男女共同参画がテーマとして取り組まれています。

学問的な主題が、2冊「男女共同参画社会をつくる」・「女性の就業と家族のゆくえ」

今まさに問題となっているハラスメント系の新書2冊「知らずに他人を傷つけている人たち」・

「家庭・モラル・ハラスメント」すすめる会冊子から「社会教育」でした。

前者の2冊は、女性をとりまく問題を問題提起からデータ分析などを主とした内容でした。特に女性の就業における男性の家事参加度は、女性の就業形態により、かなり差がでてくるという統計などは興味深く、質問が多かったです。

やはり女性の在宅時間が少ないと、家族の協力度も上がる傾向があります。また、女性の優遇制度は逆差別につながるのではないかと。という感想がでました。学生生活は男女の差があまり感じられない環境でもあります。社会にでると女性だからという理由で様々な差別が多い現実があります。などと私は少し上から目線の発言をしてしまいました。

後者の2冊は新書ということもあり、質問・意見も多かったです。「モラ夫」という言葉、ご存じでしょうか？ハラスメントおこす夫という意味のようです。夫婦関係に於けるハラスメントは、当事者の問題ととられがちで、「家庭・モラルハラスメント」の著者は、19年間夫婦関係を続け、ようやく自分の人生を取り戻しました。

発表者は男性でしたが、何度も涙が出たほどの、驚くべき内容だと説明していました。

「知らずに他人を傷つける人たち」は香山リカさんの著書です。セクハラなどにおける、双方の受け取りかた、相手の立場を思いやることが、お互いの関係を良好にしてくという知恵が書かれています。

この本が私たちの班の代表になりました。

各班の代表の本が決定し、それぞれの方が、全員に本を紹介し、質問を受け、チャンプ本の投票をします。

1班 「チーズはどこへ消えた」

2班 「経産省の山田課長補佐、ただいま育休中」

3班 「知らずに他人を傷つける人たち」

4班 「部長、その恋愛はセクハラです」

のそれぞれの発表があり、会場全体から質問が出され、投票となりました。

限られた時間内で、その本についてお勧めしたい

内容をわかりやすく、また興味を持って聞いてもらえる工夫が大事だと感じました。

会場の参加者をまきこんで、自分の考えを、ひとりよがりではなく相手に分かってもらうにはどうしたらよいのか、私たちの今後の講座にも通用することであり、非常に考えさせられました。

そして、**チャンプ本が決定しました！「部長、その恋愛はセクハラです」**発表者の方は具体的な内容を表情豊かに、私たちに伝えてくれ、一層この本について興味が深まりました。

チャンプの方には、すすめる会の藤井さんが調達してくれた、多摩区のおいしい梨が沢山贈られました。学生さんたちも、みなさんで食べられたようです。大好評でした。

当日のアンケートより

良かった点

- 1 自分が自分に意見をあたえられていること
- 2 若い人が一生懸命取り組み、真剣な姿がすばらしい。
- 3 人によっておすすめの方法が違って、本の内容について説明する人もいれば、自分の価値観と照らし合わせて説明する人がいて参考になった。
- 4 学生と社会人の方とが合同で互いに発表し合うという場が新鮮でした。

その他

- 1 セクハラについてもっと知りたいと思った。
 - 2 ビブリオバトル経験者のプレゼンテーションを生で見たいと思った。
 - 3 高校生や中学生ともぜひビブリオバトルをやってほしい。
- などたくさんの方からご意見などが寄せられました。

今回の講座はまさに協働事業にふさわしい内容でした。すくらむ 21 のインターンシップの学生さんたち主体の参加型の新しい講座を体験することができました。会場の雰囲気も講座というより、ライブ感があり、非常に刺激をうけました。新しい経験を今年度のあと2回の講座に生かしていきたいと思います。 (小林 英子)

参考本

(すくらむ 21 で学生に事前に配布された書籍を紹介します)

・コミュニケーション

- ・カウンセラーが語るモラルハラスメント
谷本恵美 晶文社
- ・部長、その恋愛はセクハラです
牟田和恵 集英社
- ・知らずに他人を傷つける人たちモラルハラスメントという「大人のいじめ」香山リカkkベストセラーズ
- ・職場のいじめとパワハラ防止のヒント
涌井美和子 経営書院

・キャリア形成

- ・働き方革命あなたが今日から日本を変える方法
駒崎弘樹 筑摩書房
- ・learn in 女性、仕事、リーダーへの意欲
シェリル・サンドバーグ 日本経済新聞社
- ・女たちのサバイバル作戦
上野千鶴子 文芸春秋
- ・ホワイト企業女性が本当に安心して働ける社会
経済産業省 文藝春秋
- ・あなたも社会起業家に 走る・生きる15のストーリー
油井文江ソーシャルビジネ研究会 富山インターナショナル
- ・社会人の生き方 暉峻淑子 岩波書店
- ・時間がないからなんでもできる
吉田保奈美 サンマーク出版

・ワーク・ライフ・バランス 子育て

- ・仕事と子育て 男たちのワークライフバランス
中間真一 鷲尾梓 幻冬舎ルネッサンス
- ・イクメンで行こう育児も仕事も充実させる生き方
渥美由喜 日本経済新聞出版社
- ・2人が最高のチームになるワーキングカップルの人生戦略 小室よしえ 駒崎弘樹 英治出版
- ・母性愛神話とのたたかい 小日向雅美 草土文化
- ・パパの極意 仕事も育児も楽しむ生き方
安藤哲也 NHK 出版生活人新書
- ・パパ料理のススメ 滝村雅晴 赤ちゃんとママ社